

アグリカレッジ福島

福島県農業総合センター農業短期大学校

令和5年度 農業研修

令和5年12月から令和6年3月までの農業研修の様子をまとめました！

公開講座

令和6年2月2日（金）、野菜・草花栽培に興味のある方を対象に公開講座（家庭菜園・趣味の草花コース）を開催しました。

座学により、家庭菜園コースでは家庭菜園での野菜づくりについて品種の選び方や栽培管理のポイント、趣味の草花コースでは花壇での草花栽培について基本的な栽培方法を学びました。



家庭菜園コース講義



草花コース講義

長期就農研修

令和6年3月13日（水）に、令和6年度長期就農研修修了式が挙行されました。3名に修了証書が授与された後、森口校長と研修生が懇談を行いました。

阿部さんは、「1年間の研修をとおし、気がついたこと、勉強になったことがたくさんある。今後活かしたい。」西牧さんは「農家出身であるが、農業の厳しさをよく分かっていなかった。また親がキュウリをやっているの、当初はキュウリ以外の品目を考えていたが、王道（キュウリ）の重要性が身にしみてよく分かった。今後はキュウリを柱にやっていきたい。」佐久間さんは「地域おこし協力隊の活動をとおし、農家の手伝いをしたことはあったが、1人で全ての作業をこなすのは初めてであり、子育てとの両立はうまくいかなかった。それでも、農業はやっていきたい。」と、各研修生は新年度に向け、意気込みを語りました。

森口校長は懇談の中で「農業は初期投資が大きくなりがちであるので、早めに相談し、リスクを抑えてほしい。相談先はこれから農林事務所が基本になるが、農業短期大学校として、引き続きバックアップしていきたい。また、直売所等で何が売れているのか、季節のニーズを捉えるとともに、キュウリのような柱となる品目で経営の安定化を図ってほしい。新規就農者数は過去最多を更新したが、新規就農者数よりも、引退する農家の数が多く、需給バランスが崩れ、ウドのように値上がりしている品目もある。皆さんには地域を引っ張る農業者になってほしい。」と各研修生にエールを送りました。



修了証書授与（写真右：阿部さん）



修了証書授与（写真右：佐久間さん）



森口校長との懇談（写真右：西牧さん）



森口校長との懇談

農業機械研修

スマート農業

農業分野におけるロボット技術及びドローンに関心がある農業者を対象に、株式会社南東北クボタを講師に迎え、開催しました。

講義ではスマート農業及びドローンについて学び、実技では自動操舵トラクタ及びオート田植機、ドローンの操作体験を行いました。



自動操舵トラクタ操作



オート田植機操作



ドローンの基礎操作



ドローン航行

初めてのアーク溶接

初めて被覆アーク溶接に取り組む農業者を対象に実施しました。2日間かけて被覆アーク溶接の基礎知識及び基本操作を学び、習得したアーク溶接技術で工作を行いました。



安全なアーク溶接技術の習得



工作物（10 cm×10 cm）